Visual Studioを使ってみよう!

 ✓ Visual Studioを実行する

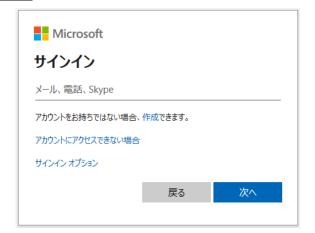


- ★ [サインイン]というボタンがあるウィンドウが表示された場合(表示されない場合は次ページへ)
- → [サインイン]というボタンをクリック

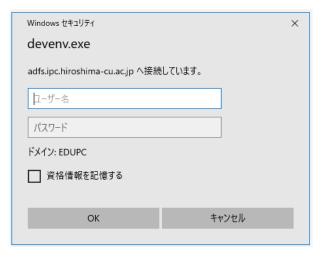


ペ 電子メール入力欄に のメールアドレスを入力する

▲ [次へ]をクリック



- → ユーザー名とパスワードを入力する
- ☆ (資格情報を記憶しておいたほうがいい)
- ↓ [OK]をクリック



Visual Studioを使ってみよう!

→ [新しいプロジェクトの作成]をクリック

- ↓ [コンソール アプリ]を選ぶ
- → [次へ]をクリック



- ★ [プロジェクト名][ソリューション名]を入力(この例では[cg2])
- → [場所]ボタンでフォルダを指定
 - → 分かりやすい場所にする
 - ↓ ログアウトしても、そのファイルが消えてしまわないような場所にする(Fドライブ)
- ペ [作成]をクリック
 - · くのフォルダに同じ名前のファイル名があるとうまくいかないので注意

ローカルフォルダに置いたファイルはシステムにより 定期的に自動的に削除されます. 個人フォルダに置けば削除されないので 個人フォルダに置くようにしてください



- メ 適当なプログラムを入力
- ▲ [ビルド]-[ソリューションのビルド]をクリック
- → [デバッグ]-[デバッグの開始]をクリック



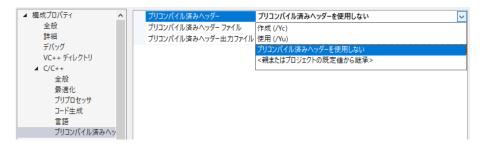
OpenGLのための準備

ぴロジェクト]-[○○のプロパティ]をクリック





● [構成プロパティ]-[C/C++]-[プリコンパイル済みヘッダー]-[プリコンパイル済みヘッダー]で[プリコンパイル済みヘッダーを使用しない]を選ぶ



OpenGLのための準備



5 [構成プロパティ]-[リンカ]-[全般]-[追加のライブラリディレクトリ]にC:¥Apps¥freeglut¥libを入力(この環境の場合)

▲ リンカー 全般	ユーリーことのリタイレクト	NNX	
	追加のライブラリディレクトリ	C:¥Apps¥freeglut¥lib;%(AdditionalLibraryDirectories)	~
	ライブラリ依存関係のリンク	121.5	

注意

PDFファイルではバックスラッシュと円マークの文字コードが違う! PDFファイルのテキストをそのままコピペするときは 円マークだけはちゃんと自分でキーボードから打つこと!

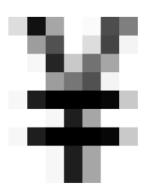
- 「OK]ボタンを押してプロパティのウィンドウを閉じる
- [ビルド]-[ソリューションのビルド]をクリックするとコンパイル&リンクが行われる
 - エラーが発生しないかどうか確認する

エラー

- □ libファイルが見つかりません、といったエラーはディレクトリを正しく入力できていない
- **s** exeファイルを開くことができません, といったエラーはディレクトリの入力が正しいか確認して, [ビルド]-[ソリューションのリビルド]をする

文字コード

- る まーボードで入力した円マークはバックスラッシュの文字コード(16進数で5℃)
- PDFファイルの円マークは円マークの文字コード(16進数でA5)



キーボードで入力した円マークは 00000000000000000000000000000111100

PDFファイルをコピペした円マークは 000000000000000000000000010100101

完全に違う文字!

サンプルプログラムをコンパイルして実行してみよう

```
#include <stdlib.h>
#include <stdio.h>
#include <gl/glut.h>
void myDisplay()
  glClearColor(1.0, 1.0, 0.0, 1.0);
  glClear(GL_COLOR_BUFFER_BIT);
  glColor3d(1.0, 0.0, 0.0);
  glBegin(GL_POLYGON);
  glVertex2d(-0.5, -0.5);
  glVertex2d(0.5, -0.5);
  glVertex2d(0.5, 0.5);
  glVertex2d(-0.5, 0.5);
  glEnd();
  glutSwapBuffers();
void myKeyboard(unsigned char key, int x, int y)
  if (key == 0x1B) exit(0);
void myInit(char* progname)
  glutInitDisplayMode(GLUT_RGBA | GLUT_DOUBLE);
  glutInitWindowSize(500, 400);
  glutInitWindowPosition(0, 0);
  glutCreateWindow(progname);
int main(int argc, char* argv[])
  glutInit(&argc, argv);
  myInit(argv[0]);
  glutKeyboardFunc(myKeyboard);
  glutDisplayFunc(myDisplay);
  glutMainLoop();
  return 0;
```

